

第9回

いなげ八景水彩画コンクール 作品募集中!



稲毛に残る海辺の記憶を絵画で表現してみませんか?

千葉市民ギャラリー・いなげの位置する稲毛地域には、かつて海辺の保養地だった頃の歴史や文化が多く残されています。当館ではこうした記憶と街の魅力を発信していくため、地域の方々と共に「いなげ八景」を選定しました。稲毛の街中に海の記憶を残す風景を見つけ、絵画表現することで、地域への愛着を感じてみてください。

作品募集期間:

2025年4月26日(土)

~10月31日(金)

作品展示期間:

2025年12月13日(土)

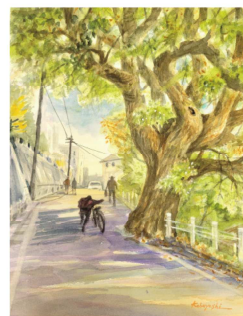
~12月28日(日)



第8回 市長賞
根塚忠明
《新緑飛行》



理事長賞
中北良生
《ゆかりの家》



稲毛賞
小林弘明
《巨樹の坂道》

いなげ八景とは

詳細は動画をご覧ください!



かつて中国湖南省の瀟湘地域では「瀟湘八景」と称し水辺の美しい風景が選定されました。瀟湘八景は山水画の伝統的な画題として親しまれ、その後各地で「八景」の文化が広まりました。

当館では、千葉市の郷土史家・西川明氏と地域の方々と共に、海辺の街だった稲毛に想いを馳せながら稲毛の8つの風景を選定しました。ぜひ「いなげ八景」を巡って、海辺の記憶を残す素敵な風景を発見してください。



① ぼせつ せんげん通り暮雪 (稲毛せんげん通り商店街)

駅と海水浴場をつなぐメインストリートだったせんげん通り。この辺りでは女性たちが貝の剥き身販売していたので貝殻が白く積もっていたとか。今では「よとぼし祭」などで全国的に注目を浴びる商店街です。



② せんぞういんばんしょう 千蔵院晩鐘 (薬王山 千蔵院)

千手寺と南蔵院が明治42年に合併した真言宗のお寺。残念ながら梵鐘はありませんが、山門に付むと読経とともに鐘の音が聞こえてきそうです。「本郷」と言われた古からの街並みが残っています。



③ いなげかいがんきはん 稲毛海岸帰帆 (千葉トヨペット本社)

灣があった辺りに千葉トヨペット本社があります。明治32年建築家・妻木頼黄らにより日本勧業銀行本店として東京麹町に建てられ、その後も谷津遊園、千葉市役所と幾度も移築されてきた流浪の名建築です。



④ はくさらくがん 白砂落雁 (民間航空記念碑 / 稲岸公園内)

民間航空の先駆者・奈良原三次氏は、潮が引くと固く締まる稲毛海岸の砂浜に着目し、明治45年に飛行場を開設。稲岸公園の「民間航空記念碑」は奈良原の助手・伊藤音次郎らの尽力で昭和46年に設置されました。



⑤ ゆかりの家夕照 (千葉市ゆかりの家・いなげ)

昭和12年に愛新覚羅溥儀氏と嵯峨侯爵家の長女浩氏が新婚生活を送った元・東京の水飴商鈴木氏の別荘です。(大正3年建築)



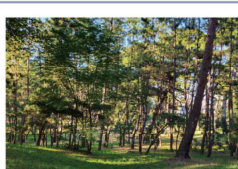
⑥ せんげんじんじやせいらいん 浅間神社晴嵐 (稲毛浅間神社)

大同3年、富士山本宮浅間大社の分霊を勧請したと伝えられる由緒ある神社です。海の埋立以前には、海中に建つ一之鳥居から参拝するのが正式でした。一之鳥居は今もほぼ同じ位置に建っています。



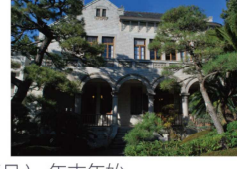
⑦ しょうりん やう 松林夜雨 (稲毛公園の松林)

かつて「関東の須磨」とも称された稲毛の松林。明治21年、松林の中には稲毛海水浴場と共に「稲毛海気療養所(後の海気館)」が開設され、多くの文人墨客が訪れています。今も「根上松」や「磯馴松」が見られます。



⑧ かみやべつそうしゅうげつ 神谷別荘秋月 (旧神谷傳兵衛稲毛別荘 / 千葉市民ギャラリー・いなげ内)

保養地稲毛に残る唯一の洋館建築は、明治・大正時代の実業家・神谷傳兵衛が建てた別荘です。海蝕崖の高台から静かな海と秋月を楽しんだ昔の人を偲びます。



開館: 9:00-17:15 入場無料
休館日: 月曜(祝日の場合翌平日)、年末年始

第9回いなげ八景水彩画コンクール 作品募集要項 (一般部門)

1 趣 旨

稲毛の文化や風景の中には、かつて海辺の町だったころの記憶が残されています。千葉市民ギャラリー・いなげでは、その記憶を伝え広めていくために「いなげ八景」を地域のみなさまとともに選定しました。街の中に、海の記憶を残す風景を見つけ、絵画表現することで、稲毛への愛着をいっそう深めていただければ幸いです。

※「いなげ八景」は新たな稲毛の魅力を発見するきっかけや、街歩きの楽しさを感じる試みとして評価され「千葉市都市文化賞 2017」で景観まちづくり部門優秀賞を受賞しました。

2 募集内容

- (1)テーマ 稲毛の風景（「いなげ八景」もしくは「いなげ八景」に因んだもの）
- (2)画材 水彩、アクリル、顔彩、その他
- (3)用紙 F6(410×318mm)の水彩紙または画用紙 ※縦横自由 ※額装はしない
※希望者にはF6用紙を千葉市民ギャラリー・いなげでお渡しします。
- (4)応募方法 出品票を裏面に貼り、千葉市民ギャラリー・いなげ窓口に提出(郵送不可)

3 日 程

- (1)作品募集(提出)期間 2025年4月26日(土)～10月31日(金)9:30～17:00
- (2)授賞式 2025年12月13日(土)※入賞者には電話かメールでご連絡いたします。
- (3)展覧会 2025年12月13日(土)～28日(日)※15日(月)・22日(月)休館、最終日15:00まで
- (4)作品返却 2026年1月9日(金)～3月1日(日)9:00～17:00 月曜・年末年始休館

4 賞

募集区分ごとに入選者の中から下記の賞を設ける。ただし、作品の応募状況により変更有。
千葉市長賞(1名)、(公財)千葉市教育振興財団理事長賞(1名) 稲毛賞(1名)、
ギャラリー・いなげ賞(若干名) ※入選以上の作品を展示

5 お問い合わせ先

千葉市民ギャラリー・いなげ 千葉市稲毛区稲毛 1-8-35
TEL : 043-248-8723 Mail : gallery-inage@ccllf.jp

メール

ホームページ



きりとり

※作品の裏面にのり付けしてください

第9回いなげ八景水彩画コンクール 出 品 票		(一般部門)
題 名		
氏 名	(フリガナ:)	
電話番号	TEL : - -	
メールアドレス (審査結果はメールにてご連絡します。)	@	
住 所 (メールアドレスがない方のみ記入)	(〒) 市 区	
作品の説明、使用画材 (描いた場面や主張したこと、稲毛への思いなど)	(描いた場所:) (使用画材: 例:水彩絵具)	
写真撮影及び氏名掲載の許諾	作品を写真撮影したものや作者名・題名を当館のチラシやポスター、ホームページやSNS、YouTube等へ掲載させていただく場合があります。どちらかに○をお付けください。 ☐ 同意します ☐ 同意しません	
企画展来場者の写真撮影の許諾	いなげ八景コンクール展で展示された作品について、企画展来場者が写真撮影をさせていただく場合があります。どちらかに○をお付けください。 ☐ 同意します ☐ 同意しません	

↑
上作
品
の
上
下下
↓